

おおつち

第136号

2014年 7 月22 日発行

TEL 0193-42-2111

FAX 0193-42-3855

発行 大槌町議会

議会報



まけるな、がんばれ～！
(おさなご幼稚園 ミニ運動会)

審議された議案
議会の動き

②～③

一般質問の内容

④～⑧

審議された議案
行政視察報告

⑨

組合議会報告
幼稚園児との交流

⑩

一般質問に5議員が登壇

◆ 議 案 — *

(全員賛成・原案可決)



◎大槌町 一般職の職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例：旅費のうちの車賃について、１キロメートルあたりの単価「35円」を「35円の範囲内で規則で定める額」に改めるものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町一般職の職員等の旅費に関する条例の

◎特別職の職員の旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例：車賃について、1キロメートルあたりの単価「35円」を「35円の範囲内で規則で定める額」に改めるものです。

（全員賛成・原案可決）

◎大槌都市計画事業震災復興土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例：震災復興土地区画整理事業における「大槌都市計画事業赤浜地区震災復興土地区画整理事

るものです。

なお、本工事は、大ケ

生活環境の向上を図るため、復興交付金事業（効果促進事業）にて実施するものです。また、周辺の住宅についても、公共下水道へ接続できる環境を整備するものです。

（全員賛成・原案可決）



大ケ口地区幹線管路（第6工区）新設工事予定地

議会の動き

4月

10日 東日本大震災復興対策

特別委員会

14日 議会報編集特別委員会

2日 請合運営委員会

東日本大震災復興対策

特別委員会

30日 第4回臨時会

政務調査会総会

5月

7日 仙台市議会行政視察

組合義員代表者会

9日
町村議会議員研修会

(盛岡市)

19日 岩手沿岸南部広域環境

東部町義会義友会
総合議会臨時会

定期総会（大槌町）

22日 大船渡・大槌・山田間

三陸縦貫自動車

整備促進協議

26 2
日
道路関係団体合同総会

27日 議長・副議長研修会

（ ）
28 日・東京

29日 議員全員協議会

協義会

大阪府富田林市議会

義援金贈呈



小松 則明 議員

人口流出に対する今後の方向性は

人口問題対策本部を設置し議論していく

人口流出阻止への
取り組みについて

【問】地域崩壊回避のため、人口流出阻止のダムとなる地方の拠点づくりや出生率アップ対策などが提言されているが、現実には自治体や政府といった行政の力だけでは難しい。若い人が住み、子供を産み、育てていくことができる環境づくりが唯一の解決方法だと思っているが、今の町はどのような環境ではない。今後の対策は。

【答】（碓川町長）

町の将来人口を明らかにし、大槌町に住み続けていただくためには何が

必要なのかという視点から各事業を計画した。また、人口問題対策本部を設置したところであり、今後議論し実施していく。

【問】町内の企業が新規事業を起こす場合には、町としての補助的考えはあるのか。

【答】（碓川町長）

現在はないが、今後考えて実行したいと考えている。

消防団活動への町の
取り組みについて

【問】長野県危機管理部では、消防団員減少などに

よる消防力の低下が危惧されており、その対策のため、消防団活動に協力している事業所等の事業税の減税をするなど消防団員の確保に取り組んでいるが、町の消防団員確保への取り組み方針は。

【答】（平野総務部長）

長野県で運用されている事業税に対する優遇措置については、消防団員確保に有効な取り組みであると考える。本町としても、長野県と同様の税制的優遇措置が図られるよう県に要望していく。

源水・大ケ口地区の
環境について

【問】個人住宅再建や災害公営住宅再建に伴い、急激に地域人口が増えていく一方、商店やスーパーがないなど、地域の環境が住む人の需要に対応できていない現状がある。この問題に直面している源水・大ケ口地区に対しての今後の町の対応は。

【答】（大釜産業振興部長）

商店の立地に関しては土地の利用規制などの問題もあるが、相談があった場合には、土地の面積や商売の形態などをお聞きし相談に応じている。具体的な商業店舗などの起業については、今後も産業振興部で対応していく。

住宅再建に係る
道路幅員について

【問】現在、町では防災集団移転事業や区画整理事業などの住宅再建に係る事業が進んでいる。その中で、津波で浸水した区域ではあるが、新たな防潮堤の建設により、防潮堤完成後は浸水しない安全な区域であると指定され、住宅再建がすぐにでも可能となった地域がある。

しかし、当時との建築基準の違いから接道の道路幅が足りず、震災前に住んでいた土地に住宅を再建できない状態の場所があるが、そのような相談があった場合の町の対応は。

【答】（那須復興局長）

現在の建築基準法では、建て替えの際は道路の中心から2メートル下がった位置で建築し、道路幅を4メートル確保することとなる。

震災前に住んでいたところに住宅を再建したいという要望があれば、要望者において、道路幅を4メートル以上確保するための境界確定や分筆登記に必要な測量を行い、所有権移転登記ができる状態で道路用地を町へ寄附していただける場合は、町道認定する方向で事務を進めている。

障がい者就労施設は

定員 26 名で秋頃開所予定



東 梅 康 悦 議 員

国土調査未実施地区
での住宅再建について

【問】同事業が未実施の地域において、被災者の方が自己所有の土地に住宅再建する時、公図と現況に相違がある場合の町の対応は。

【答】（那須復興局長）

法務局の備えつけ公図は、境界の復元が可能な「法第14条地図」とは異なり精度も高くない。個人間で土地の境界を確定する方法として、土地所有者が法務局に対して筆界を特定する「筆界特定制度」がある。現在までの国土調査の進捗率は43%

であり、未実施地区を解消するよう計画的に実施したい。

【問】筆界特定制度を利用する場合、役場の関与は。

【答】（那須復興局長）

技術的な支援はできないが、土地家屋士や法務局等への紹介などの手伝いはできる。

高校再編について

【問】少子化により子供の人数が年々減少する時、



大槌高等学校

町としての高校再編計画への対応は。

【答】（内城総合政策部長）

本年5月28日現在、大槌高校の学級数は全学年3学級である。今後の高等学校教育の在り方について本年8月から9月にかけて各自自治体首長を交えたブロック別の懇談会が開催予定である。大槌高校は地域とのつながりも強く、本町にとって重要かつ必要不可欠である。県の委員会の議論を注視し、まちづくりにおける大槌高校の位置付けや町民の皆様の思いを踏まえ、

懇談会等において町の考え方を主張していく。

【問】住田町では、住田高校に町独自の支援をしている。当町ではできないか。

【答】（碓川町長）

住田町の取り組みは、定住対策のものと考える。町では子育て支援については、いろいろな方策を講じているが、人口減少が進む中で定住化の一環としての取り組みはしな

ければならない。

障がい者の就労について

【問】当町における障がい者の就労状況とA型就労事業所の今後の方向性は。

【答】（佐々木民生部長）

3月末の障がい者の人数は、身体障がい857名、知的障がい113名、精神障がい56名の計1026名。就労人数は、身体障がい10名、知的障がい5名、精神障がい4名の計19名である。町内では初となる就労継続支援A型施設「まごころ就労支援センターおおつち」が今年秋頃の開所予定でA型10名を含む計26名の定員となる。



まごころ就労支援センターおおつち

【問】当町における障がい者の就労状況とA型就労事業所の今後の方向性は。



芳賀 潤 議員

サポート拠点運営事業の今後は

地域支援事業として協議を進める

おおつち型地域包括
ケア事業について

【問】今年度は第6期介護保険事業計画の策定年度であり、東日本大震災津波復興計画基本計画に、おおつち型地域包括ケア体制の構築等の掲載があるが、その内容と今後の方向性は。

【答】（碓川町長）

おおつち型地域包括ケアは、復興を進める新しい町の社会生活基盤を整備していくにあたり、介護・保健・福祉などの各分野の連携をより一層深めるとともに、医療関係者や民間事業者、地域の住民などさまざまな立場

の方々が、互いに顔が見え、信頼感を持てる関係を築くことにより、高齢者のみならず、障がい者や子供までもが地域で互いに支え合い、生きがいを持って、安心していきいきと暮らしていける体制を目指すものである。

既に5月から、町内5つの地区単位で個別・具体的な課題に対応するため、小地域ケア会議を開催しているほか、今年度策定する第6期介護保険事業計画にも位置づけ、構築に向けた取り組みを進めていく。

【答】（佐々木民生部長）

共同仮設住宅は4施設、サポート拠点施設は3施設で、昨年度は延べ3万337名の方が利用している。高齢者等の住まいの確保及びサポート体制の在り方など、利用者や地域のニーズに十分配慮しながら、関係事業者の方々と十分に協議するとともに、支援に取り組んでいきたい。

【問】次年度の環境について不安の声が聞かれているが、今後の学校運営委員会の設置は。

【答】（澤館教育部長）

学校運営委員会の設置について、本町の目指す小中一貫教育は、学校だけでなく、保護者、地域と連携して進めるもので、いわて型コミュニケーション、学校評価と合わせ、学校運営委員会の設置を考えている。

【問】当町においては、児童数の減少が町の存亡にかかわる重要課題と感じている。児童保育等、子供を見守る人から就労に結びついていないケースもあると思われるが、この課題について町の考えは。

放課後の児童対策について

【問】現在の児童生徒の学力と一貫教育における目標は。

【答】（澤館教育部長）

平成25年度に実施された県学習定着度状況調査の結果では、震災後は県平均と差が開いてきている。そのため、小中学校の先生方が力を合わせ、保護者・地域が支えながら進める教育づくりが望まれることから、そうした課題に学校・保護者・地域が協力しながら取り組み成果を上げていきたい。

校に合わせ、児童保育も移転整備する方向としており、現在、整備候補地の調整等を行っている。

吉里吉里地区では、小学校内で放課後子ども教室が実施されているが、児童保育が整備されていないため、現在は、地域の保育園において低学年児童の受け入れを自主的に行っていた。現在、児童の受け入れを自主的に、共働き家庭等の児童に、安心・安全な居場所を確保するという観点から、保護者の意見や利用ニーズを十分把握するとともに、小学校の空き室の利用や指導員の確保等について、教育委員会をはじめ、地域の関係者の方々と協議を進めていく。

防災計画に県立大槌病院の記載が見えないが

災害時は県立大槌病院が中心になる



阿部 俊作 議員

県立大槌病院と
行政の連携について

【問】県立大槌病院の位置付けと行政との連携は如何に。

【答】（佐々木民生部長）

金石医師会や県立金石病院を中心とした災害時医療体制の強化、広域的な防災面の連携強化を掲げている。

【問】災害時は県立大槌病院が中心になるのでは。

【答】（平野総務部長）

県立大槌病院が中心になる。

【答】（内城総合政策部長）

全てのバスが大槌病院のバス停に停車するように設定し、乗降しやすいバスの導入に努めている。



県立大槌病院等建設予定地

町内商工業の振興策について

【問】商工業の振興策としての仮設店舗の払い下げは。また、商業用地の駐車場は。

【答】（大金産業振興部長）

産業用地のレイアウトは協議中。事業者の再建

には、中小企業被災資産復旧費補助金など制度の案内をして対応する。

【答】（田中被災者支援室長）

仮設施設の今後の活用は検討する。

地方銀行への

町の預け入れについて

【問】地方銀行への預け入れは。復興交付金を町内金融機関に振り分けては。

【答】（三浦税務会計課長）

4月末現在、729億9396万6789円。

指定銀行の変更は難しい。

水道事業について

【問】水道普及の見通しは。

【答】（田中水道事業所長）

現在の水道未普及は、戸沢地区22戸、安瀬の沢地区9戸、前段地区32戸。今後検討していく。

グラウンド整備について

【問】グラウンドの砂埃がひどい。砂を替えては。

【答】（青木都市整備課長）

新町の当該グラウンドは本設野球場を整備するまでの暫定なので、使用者で水をまいてほしい。仮設校舎においても状況に応じて水をまいてほしい。

【問】防塵剤を活用しては。

【答】（澤館教育部長）

検討する。



小中学校仮設グラウンド

町民バスの運行について

【問】町民バスの回送をなくして、利用しやすくするように改善をお願いしてきたが。

【答】（内城総合政策部長）

回送区間を実走区間にすると勤務時間がふえるため難しい。

【問】新しい路線を作るのではない。第1便を5分ふやすだけで良いのでは。

【答】（内城総合政策部長）

利用実態や皆様の声を踏まえ路線の見直しや運行形態を構築する。

就学援助について

【問】4月から消費税増税となり、主に子育て世帯にとっては厳しい出費が予想される。当町の就学援助費は如何に。

【答】（松橋学務課長）

就学援助費支給認定者は、要保護児童生徒4名、準要保護児童生徒39名、被災児童生徒428名である。準要保護児童生徒と要保護児童生徒の学用品の単価に差があったので、今年度から要保護児童生徒の単価で支給したい。



三 浦 諭 議 員

まちづくり会社の定期的な説明を求める

説明会の機会を設ける

（仮称 大ケ口大橋の沢山側県道の形状について）

【問】（仮称）大ケ口大橋開通の際には、通学路として利用されることが想定され、児童・生徒の安全な通学を第一と考えるが、教育長の所見は。

【答】（伊藤教育長）多くの児童生徒が通学路として利用することから、整備にあたっては十分配慮した整備を要望していく。

【答】（那須復興局長）三陸沿岸道路と（仮称）大ケ口大橋が県道に交わるため、国土交通省と町で、県及び警察等と交差

点協議を進めている状況であり、安全確保を第一に協議検討していく。



安全な通学路を望む沢山県道

CATV全町化事業について

【問】CATV全町化事業において、議会放送以外の活用計画は。

【答】（平野総務部長）放送コンテンツに対する町民ニーズを把握しながら、維持管理の在り方も含め今後調査検討していく。

復興まちづくり大槌株式会社

【問】復興まちづくり大槌株式会社

【問】復興まちづくり大槌株式会社

【答】（内城総合政策部長）稼働率については表のとおり。

	長期棟	一般棟
目標稼働率	80%	65%
4 月	58%	41%
5 月	75%	60%
6 月	99%	70%
7 月	96%	90%

今後の経営方針は、他

地区に宿泊していた建設会社や新規参入の建設会社に対し営業を行い、町内に人を呼び込むよう取り組んでいく。

【問】復興まちづくり大槌株式会社

【答】（内城総合政策部長）説明する機会を設ける。

源水、大ケ口地区の避難所について

【問】源水、大ケ口地区は災害公営住宅、防集移転、自力再建が進み、人口が増加している。それに対して、避難所の増設は必

要と考えるが、今後の避難所整備の見通しは。

【答】（平野総務部長）平成24年3月と平成26年3月を比較すると、99世帯、198人の増加があり、今後も世帯・人口ともに増加するものと予想される。避難所の整備、避難路・避難場所も含め地域の安全・安心を考える必要があると強く認識している。

【問】本年1月より募集していた三枚堂、桜木、大ケ口、柁内、沢山の各防

防災集団移転団地の応募結果について

【問】本年1月より募集していた三枚堂、桜木、大ケ口、柁内、沢山の各防

【答】（那須復興局長）応募結果については表のとおり。

	三枚堂	桜木町	大ケ口
区画数	1	1	7
応募数	5	0	5

	柁内	沢山	吉里吉里
区画数	5	1	2
応募数	15	11	3

応募がなかった3宅地については随時募集を行っている。

【問】本年1月より募集していた三枚堂、桜木、大ケ口、柁内、沢山の各防

第3回臨時会

平成26年第3回臨時会
は、3月26日に開催され
ました。

◇報告—*

◎工事請負変更契約締結
の専決処分の報告：白沢
地区雨水排水路整備工事
について、新設雨水路近
辺の舗装工の増工、工事
迂回路への増員、単価の
見直しによる減額により、
合計で203万700円
を増額したものです。

◇議案—*

◎財産の取得：災害公営
住宅建設用地として、小
槌第19地割地内6833、
11平方メートルを560
3万1502円で取得し
ようとするものです。
(全員賛成・原案可決)



小槌第19地割地内

◎指定管理者の指定：か
みよ稲穂館、長井清流館、
大槌町多目的集会所、小
槌地区多目的集会所、大
槌町金沢地区生活改善セ
ンター、桜木町保健福祉
会館、大槌町藤打直地区
集会所、上町ふれあいセ
ンターの合計8施設につ
いて、平成26年4月1日
から平成31年3月31日ま
での5年の指定期間に係
る指定管理者について議
決を求めるものです。
(全員賛成・原案可決)

第4回臨時会

平成26年第4回臨時会
は、4月30日に開催され
ました。

◇議案—*

◎工事請負契約の締結：
大槌町浪板地区、吉里吉
里地区、赤浜地区、安渡
地区及び小枕・伸松地区
他第2期工事について、
東日本大震災により被災
した地区他復興整備事業
の実施にあたり、必要と
なる詳細設計及び工事施

工を総合的にマネジメン
トすることで、本震災復
興事業の効率的で確実な
進捗を図るため工事を
実施するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎(仮称)おおつち学園
小中一貫教育校用地取得
事業実施協定の一部を変
更する協定の締結：測量
調査、設計の結果、造成
工事費及び用地取得費等
の増額が見込まれるため、
経費の限度額を12億75
51万2千円増額したも
の。

◎平成26年度大槌町一般
会計補正予算(第1号)
を定めること：白沢橋外
橋梁改修工事及び町方地
区以外で実施する復興整
備、CMR事業に伴う復
興整備事業管理支援業務
委託などにより補正し、
歳入歳出予算に1億36
56万円を追加し、予算
の総額を503億965
6万円とするものです。
(全員賛成・原案可決)

行政視察報告

政務調査会(小松則明
会長)は、6月26日から27
日の2日間、大阪府箕面
市、兵庫県神戸市を訪
問し、小中一貫教育の取
組みや震災遺構などに
ついて研修を行いました。

大阪府箕面市の「とど
ろみの森学園」では、大
阪府内初となる小中一貫
教育を行っています。一つ
の空間に一年生から九年
生までが協力し合い過
していることに驚きを感じ
ました。現代の子供の
成長に合わせ、前期は一
年生から四年生まで、中
期は五年生から七年生ま
で、後期は八年生から九



大阪府箕面市での行政視察風景

年生までのブロックとな
り、それぞれのリーダー
学年を節目として9年間
の成長の連続性の中で児
童生徒を育てるという取
組みを行っています。
校舎は前期生徒の教室は
壁やドアがなくオープン
になっており、隣のクラ
スとの行き来が自由と
なっています。小中一貫
教育を取り入れるにあた
り、小学校の教師と中学
校の教師との話し合いが
頻繁に行われたそうです。

兵庫県神戸市の震災跡
地の保存は、交付金など
国自体が関与しているこ
とです。震災当時の
再現画像は、当時の様子
を鮮明に理解する
ことができます。

また、震災により
被災された方々の
名前が刻んだある
慰霊モニュメント
は心を打たれるも
のがありました。

当町においても、
今後の慰霊碑建設
を検討する際の参
考になると考えま



神戸港震災メモリアルパーク



阪神淡路大震災メモリアルモニュメント

岩手県沿岸知的 障害児施設組合

東梅 守議員報告

去る3月19日に3月定例会を開催し、会期は1日、付議事件は4件いずれも承認された。

平成26年度岩手県沿岸知的障害児施設組合一般会計予算については、歳入歳出予算の総額を2億428万円とするもので、原案のとおり可決された。

また、岩手県市町村総合事務組合規約を変更することの協議の専決処分に関し承認を求めるもの、岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議の専決処分に関し承認を求めるものについては、原案のとおり承認された。

平成26年度の議員の行政視察について、原案のとおり承認された。

岩手沿岸南部 広域環境組合

阿部俊作議員報告

去る5月19日に5月臨時会を開催し、会期は1日、付議事件は3件いずれも承認された。

管理者からは、岩手沿岸南部クリーンセンターの状況として、平成25年度は、災害ごみを含め4万1835トンのごみを受け入れており、前年度と比べて約1%の増加となっていること、また、昨年度末で概ね完了した災害ごみ処理の一部残務処理にも引き続き協力していくとの報告があった。

また、平成26年度岩手沿岸南部広域環境組合会計補正予算（第1号）については、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1925万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ12億8658万1千円とするもので、原案のとおり可決された。

次代を担う子供たちと編集委員との交流



一緒にあそんでくれて、どうもありがとう～♪

震災後、子供たちのために広い園庭を願い、今年からやっと運動会が園庭で出来るようになった。

6月のミニ運動会では、大好きなご家庭の方に見守られるなかで子供たちは笑顔いっぱい体を動かしていました。こんな時、大切なお子

んをとともに育てる機会をくださった保護者の方に感謝しています。

園では、心と体と頭のバランスのとれた子供を育てたいと日々の保育を大切に過ごしています。

子育て支援クラブもありますので、お気軽に遊びに来てください。

（おさなご幼稚園）



一緒にお弁当を食べたよ！

★タイトル作成者★



ちば かいと 千葉海翔くん（5歳）

表紙の「おおつち」を書いてくれたおさなご幼稚園の海翔くんです。上手に書いてくれてありがとう。

★次回の訪問予定★
次号は、9月中旬に「安渡保育所」の予定です。

編集後記

▼4月から1年間、議会報編集委員の皆様とともに議会報の作成のお手伝いをさせていただきました。

派遣職員として大槌町に初めてやってきた4月、不安もありましたが、町民の皆さん、役場の皆さんの優しさに心が暖まったのを覚えていています。

大槌町のひよっこりひょうたん島、新山からの絶景など、これから大槌町の魅力を感じる分味わいたと思っています。

議会報の作成経験はありませんが、読みやすく興味を持ってもらえる議会報にしたいと思っています。よろしく願っています。

（議会事務局 金野美奈子）

議会報編集特別委員会
委員長 金崎悟朗
副委員長 三浦 諭
委員 芳賀 潤
委員 東梅 守
委員 阿部俊作